カトリック二俣川教会
教会だより
２０２４年 5月号
No.369
（２０２４年5月5日 発行）

二十六聖人

日本二十六聖人殉教者

聖フランシスコ吉（きち）

1、大工。逮捕されていなかったが、
殉教者の世話をしていた。
長崎への途中で捕えられ、殉教者に
加えられた。年齢不詳。京都生まれ。

日本二十六聖人殉教者

聖コスメ竹屋（たけや）

2、刀剣士。受洗後、伝道士として大阪の
マルティン神父を助ける。愛をもって病人の
世話をし、神父の支えとなった。38 歳。
尾張生まれ。

巻頭言：聖マリアの連願をささげながら

イエスは、母とそのそばにいる愛する弟子とを見て、母に、「婦人よ、御覧なさい。あなたの子です。」と言われた。それから弟子に言われた。「見なさい。あなたの母です。」その時から、この弟子はイエスの母を自分の家に引き取った。【ヨハネ 19、26～27】

十字架に釘付けられたイエス様は、ご自分の母マリアと一人の弟子を見つめておられました。きっと、二人もイエス様を見上げていたと思います。悲しい限りの光景でしょう。しかし、その悲しみの中でも、イエス様は救いの業を続けられました。それは、母を弟子に、また弟子を母に任せるということでした。二人はイエス様に愛された人たち。イエス様はその二人を、ご自分の愛によって結んでくださったわけです。そして、その時から、この弟子はイエス様の母マリアを自分の家に引き取ったと、福音は語っています。

これは、単なる委任ではありません。イエス様のみ言葉によって、弟子共同体はイエス様の母マリアを、自分たちの母として受け入れたのです。そして、同じ言葉によって、イエス様の母マリアは、弟子共同体の母となったわけです。その弟子共同体とは何でしょうか。それは、即ち教会なのです。そこで、教会はいつも信仰の模範をイエス様の母マリアから見つけ、また、学びながら、自分のあるべき姿をマリアから見出さなければならないのです。

ここで、聖マリアの連願を紹介させていただきます。この連願は、マリアを特別な言葉で呼び、また、賛美しながら、わたしたちのために祈ってくださることを願う祈りです。その特別な呼称は次のとおりです。

神の母聖マリア。救い主の母聖マリア。無原罪の聖マリア。世の救いの協力者聖マリア。天の栄光に上げられた聖マリア。恵みあふれる聖マリア。人類の母聖マリア。教会の母聖マリア。使徒たちの母聖マリア。殉教者の母聖マリア。宣教者の母聖マリア。平和の守護者聖マリア。貴いロザリオの聖マリア。キリシタン発見の聖マリア。尊敬すべきおとめ。忠実なおとめ。柔和、謙遜なおとめ。幼子をいつくしむおとめ。明けの明星。喜びの泉。純潔のかがみ。仕える者の模範。家庭生活の喜び。召命の保護者。キリスト信者の助け。悩み苦しむ者の慰め。病人の希望。やみの中の道しるべ。罪びとのよりどころ。弱く貧しい者の友。心の支え。臨終の時ともにいてくださる方。

改めて言いますが、教会のあるべき姿はマリアから見出せます。上に書いた特別な呼称がマリアの姿であるならば、教会もその通りにあるべきでしょう。そして、その教会にいるわたしたちもそのようになるべきです。5月、聖母マリアの月を迎えて、毎日、聖マリアの連願の一つずつを、思い巡らしてみることができれば幸いと思います。

主任司祭　ヤコブ　姜 真求

神様の愛の結実をあらためて感じ、信仰人としての決意を新たにする時

ありがとう
神さま 新たに
生きる希望

イエス様がそばについていて下さることの再確認ができて、心のよりどころです

脱皮

わたしの
信仰の神髄

1 年の始まり！

いつも、どんな時もイエス様が共に居て下さるという安心感があることです

固まったものが
元に戻る！

希望の光であり、
道しるべです

ともに生きる
ともに居る

私たちはご復活祭に、姜神父様からお祝いのお餅をいただきました。今年のメッセージは…

『あなたにとって復活とは？』

生きなおす日

こんな私でも
「共にいてくださる」
喜びのできごと

そこで、復活節を過ごしながら…皆さんの“答え”を募集しましたのでご紹介します！

なぐさめ、いやし、
力、希望、感謝、愛
と思ってます

ゆるしの秘跡を受け、
罪が許され新しい時を
得られた時（ただまた
すぐに罪を犯す弱い人
間です）

キリスト者として
自分が生きているか、
改めて立ち返るとき

人生における試練
や成功を味わう時
希望がもてるよう
になる

HAPPY EASTER

自分自身をみつめ、
特に深く考える時

神様からの
溢れるお恵みに
感謝！

私にとって、復活は大きな喜びと希望です！なぜなら、イエス様は生きておられ、いつでも私たちとともにいてくださるからです。このことは、特に困難な時に勇気を与えてくれます。

神様からの恵み
そして希望

復活を通して新しい心になります。それは、新しい自分と今までの自分を入れ替えること。でもただ入れ替えるのではなくそれぞれの良い部分を共有しながら新しい自分になる事だと思います

Christ's resurrection means HOPE for me. The Lord doesn't want us to feel hopeless because we are given hope through His resurrection. We will not always live in a sin-filled world because we have hope for the future. We can fully trust in Him and know that what He has promised concerning the future will come in His timing.

永遠の命に至る
細い道、狭い門
が開かれたこと

自分を
見つめなおすこと

過去を
振り返えるとき

老いてゆく苦しみ・病み・痛み・社会生活での苦しみを耐え、自己の罪や人々の罪を償いながら、その苦しみに耐え受け入れ、死を迎えた時、本当の復活と思っています

2024年４月教会委員会報告（開催日：４月７日）

【2024年教会委員】

一部未定だった2024年教会委員が全て決まりました。退任された委員の方々に感謝します。なお、5月末までは引継ぎを兼ねてＴさんが事務所長業務を継続します。

委員長 A. N. 副委員長(総務担当)兼事務所長 O. M.　副委員長 H. K.　財務 F. N.　典礼 W. H.　教会学校 M. Y.　キリスト教講座 K. A.　福祉 K. M.　広報 O. Y.　建物管理 N. K.　共同墓地 S. Y.　ヨゼフ会 M. T.　マリア会 K. M.　青年会 Y. M.　インターファミリー W. R. (補佐 K. N.) 事務所長(5月末まで) T. T.

【事務所体制の変更】

事情により事務員二名が退職されます。お一人は４月、もうお一人は５月に退職される予定です。長らく教会事務を務めて頂いた事務員の方々に感謝します。現在、引継ぎ中のため、しばらく事務が滞ると思われます。また事務所の休業日が増えます。皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解のほど宜しくお願いします。

【姜神父様の予定】

神父様は5/1から5/5まで韓国に出かけられます。梅村司教様が議政府(ウィジョンブ)教区の新しい司教様の着座式に出席されるので、その案内役を務められます。

【検討事項】

１．教会委員会運営方法の変更

現在、教会委員会を月一回開催しています。今までは各会からの活動報告（口頭）が会議時間２時間の半分程度を占めていましたが、今後は口頭でなく書面により報告して頂き、様々な問題を討議する時間を大幅に増やすことにしました。

２．4/21山手教会助祭叙階式

・当教会からは約50名が叙階式に参加される見込みです。

・ナン神学生助祭叙階のお祝いを計画しています。日時や内容は改めてご案内します。

３．バザー・アンケート

3/24からバザーに関するアンケートを開始しましたが、回答者の年齢分布に大きな偏りがあることが分かりました。そのため、６０歳未満の青年・壮年層にアンケートへの回答を呼びかけています。集計結果を後日皆様にご報告します。

４．梅村司教様方針の討議

梅村司教様は、司教着座当時に発表された基本方針で各地区（当教会は第三地区）と小教区に、三つの部門を設けて三つの力（祈る力、信仰を伝える力、神の愛を証しする力）を育てるように要請されました。コロナ禍等で活動が停滞したので、再出発に向けて討議を行いました。具体的な方向性が決まったらご報告します。

５．2024年教会委員会基本方針の討議

本年２月25日の信徒集会で報告した2024年教会委員会基本方針を具体的に進めるための討議を行いました。当面は以下の二つに力を入れます。

①典礼や教会活動の奉仕に参加しやすい環境を作る。そのために必要なもの、参加の妨げとなるものを皆様に聞く。

②集いにくい環境、不便な設備を改善する。そのために皆様の改善要望を聞く。外国籍、高齢者など不便さに直面しやすい方は勿論、そうでない方の意見も広く集める。

【各会報告】

１．典礼委員会

・姜神父様の韓国出張のため、ミサの日程は以下のようになります。
4 月 30 日(火)～5 月 4 日(土)週日のミサはなし。5 月 4 日(土)17 時ミサは代わりの神父様(未定)が司式されます。5 月 5 日(日) 7 時、10 時ミサは保久神父様司式。
・ロザリオの祈り（5 月）
主日(土)16：40～「ロザリオの祈り」1 連
主日(日) 9：40～「ロザリオの祈り」1 連
週日(火～土) 9：30～教会の祈り「ロザリオの祈り」1 連

２．教会学校

・3 月末に教会学校案内および申込書を発送しました。申込締切は 5 月末です。
・初聖体の子どもたちをお祈りで応援するボードを作り、階段踊り場に掲示中です。

３．キリスト教講座

5/8 より入門講座を開講します。
※開講日は 5/8 からの予定でしたが、 5/9 からに変更になりました。

４．一粒会

・３月の新規会員は１名でした。
・4/21 助祭叙階式を二俣川教会にてライブ放映します。

５．共同墓地委員会

・3/17 に四教会共同墓地会議がありました。決定事項は以下の通りです。5/25（土）10 時から「春の墓参」、11/4（月）追悼ミサ、「共同墓地使用規則」改正、合葬墓のスペース不足問題については継続検討。
・3/28 納骨式が執り行われました。姜神父様と K. N. さんが列席されました。

６．ヨゼフ会

・3/31 例会、4/14 コーヒー光（第二、四日曜日開催）を実施しました。
・6/22～23 に練成会を予定しています。

７．マリア会

・3/10 ボリビア支援グループ「のんびり日曜日」実施
・3/11 アンナ会実施
・3/15、28 ステラマリス帽子を編む会実施
・パーティー係　復活祭に向けて 3/8 会議、3/29 買物、3/30 イースターエッグの卵茹で（600 個）とラッピング準備、3/31 復活祭パーティー料理調理
・マリア会の日（5/31、映画とお食事）を企画中。

８．青年会

・3/17 定例会で 5/19「わかちあいたいかい」のテーマを検討しました。一粒会と一緒に計画を進めます。
・今年も「聖霊降臨カード」作りをします。
・長崎県の教会等への訪問を企画しています。本年度中に訪問するつもりです。
・四旬節中に幼児や他教会の青年と和紙でステンドグラスを作成しました。復活節が終わるまで聖堂内陣の窓に飾られているのでご覧ください。
・3/31 復活の主日パーティー後に青年、高校生を交えてピクニックに行きました。また、イースターエッグ配りや復活祭パーティーで新信徒二名と親睦を深めました。

９．インターファミリー

9/29 ミサ後に予定されているアルペなんみんセンター事務局長 A. K. 氏の講演会について企画を考えています。

以上

入信の秘跡を受けられた皆さま、
おめでとうございます！！

3 月 31 日の復活徹夜祭で 4 名の方々が入信の秘跡を受けられました。その方々から、喜びの声が届いていますので、ここに掲載させていただき、二俣川教会信徒の皆さまと喜びを分かち合いたいと思います。

受洗者の声

まずは洗礼式までの間、入門勉強会でご教示してくださった皆様ならびに参加者の皆様、そして何よりも熱心に教えてくださり、サポートし、代母を快く引き受けてくださった N. Y. さん、キリスト教に馴染みのなかった私を招き入れ洗礼をしてくださった神父様、ご一緒にお祈りを捧げてくださった兄弟姉妹の皆様、本当にありがとうございます。

勉強会に参加したての頃は体調を崩しており、外出することや人と話すことが困難な時もあり中々教会に足を運べないこともありました。ですが、今では兄弟姉妹の皆様やイエス様に見守られ、教会に度々足を運び、無事に洗礼式に出席することができ、共同体になれたことにとても喜びを感じています。教会で見かけることがありましたら、皆様と喜びを分かち合えることを楽しみにしております。

マリア　O. A.

＊＊＊＊＊＊＊

3月末をもって、受洗しました。今までは、家族が信徒でしたが自分は違うことから、どこかで寂しい気持ちがありましたが、家族、また共同体の皆様ともつながりができて、大変温かい気持ちになりました。

受洗したときは、新しい信仰の旅に踏み出すことができた喜びを感じました。聖水で洗礼を受けた瞬間は、心身ともに清められたような感覚があり、教会へお越しくださった皆様の方を振り返ったときは周囲の支えや祈りに包まれながら、神様との絆がより深まったことを実感しました。

今後の人生において、信仰が私の方向を導き、他者とのつながりを強めていくことに期待と希望を感じています。

クララ　N. M.

＊＊＊＊＊＊＊＊

いつからか「心の孤独」を感じるようになりました。多くの愛に包まれても（人は一人では生きられない）と感じていましたが、洗礼への道のりは遠いものでした。求めていた扉に辿り着いたのは母のご意向を兼ねた、滅多に参列しない主日ミサの帰り道。姜神父様の下、すぐにボランティアの皆様が毎週オンライン勉強会で親身に導いてくださり、大きな喜びと励まし、同時に「寄り添う」意義も体現してくださいました。

洗礼を受けた今、神に愛されている唯一無二の存在であることが喜びです。本物を見分け聴き分けることはルーティンな日々の中で難しいですが、神の子として愛と感謝に満ちた丁寧な時間を大切にしたいと感じています。

末筆ながら姜神父様はじめ、勉強会ボランティアの皆様、洗礼を祝ってくださる信徒の皆様に改めて御礼申しあげます。

マチルダ　M. M.

＊＊＊＊＊＊＊＊＊

僕は、生まれも育ちも二俣川です。中学校の行き帰り道に二俣川カトリック教会がありました。何時か行ってみたい…漠然と心の中心にありました。四半世紀過ぎて必然に成り、病に倒れた時はもう洗礼は無理かなと思う時も。多くの兄弟姉妹また神父様に愛のあるお言葉をいただき、受洗を受けることが出来ました。ありがとうございます。歩みの遅い僕ですがよろしくおねがいいたします。

使徒シモン　Y. S.

〔 復活徹夜祭の一コマ 〕

皆で祈りましょう！

5 月は 聖母マリアの月 です。
アヴェマリアの祈りとともに「聖母マリアの賛歌」(ルカ 1 章 46-54 節)に
心をよせてお祈りしましょう。

― 貧しい者(神において小さな者、貧しさを認める信仰深い者)に
目を留めてくださった神。その神への賛歌 ―

聖母マリアの歌 ― マニフィカト（Magnificat）

わたしは神をあがめ、
わたしの心は神の救いに喜び踊る。
神は卑しいはしためを顧みられ、
いつの世の人もわたしを幸せな者と呼ぶ。
神はわたしに偉大なわざを行われた。
その名は尊く、あわれみは代々、神を畏れ敬う人の上に。
神はその力を現わし、思い上がる者を打ち砕き、
権力を振るう者をその座から下ろし、見捨てられた人を高められる。
飢えに苦しむ人は良いもので満たされ、
おごり暮らす者はむなしくなって帰る。
神はいつくしみを忘れることなく、僕イスラエルを助けられた。
わたしたちの祖先、アブラハムとその子孫に約束されたように。

（「カトリック祈祷書　祈りの友（改訂新版）」　より）

横浜教区に３名の助祭が誕生しました。
神に感謝！

４月 21 日（日）世界召命祈願の日、山手教会にて横浜教区の助祭叙階式が行われました。山手教会には、３人の助祭の出身教会や実習先の教会からも多くの信徒が参列し聖堂は満席となり、地下ホールも使用するほどとなりました。(二俣川教会からは 60 名ほどの信徒が出席しましたが、山手教会に行かれない方の為に、二俣川教会でも聖堂でライブ配信が行われました。）　今後、ナン助祭の喜びの声や他の２人の助祭について本誌でご紹介予定です。

①入堂(終始笑顔のナン神学生) ②諸聖人の連願 ③按手 ④助祭服を出身教会の主任司祭に着せていただく ⑤福音書の授与 ⑥はじめての助祭奉仕 ⑦お祝いの花束贈呈 ⑧新助祭挨拶(ナン助祭のお父様と弟さんが来日されました)

＊＊

二俣川教会ニュース

- 1999 年 5 月 15 日に司教叙階された横浜教区のラファエル梅村昌弘司教様は、今年で叙階 25 周年を迎えられます。一粒会の呼びかけで霊的花束を用意し、お捧げします。また、メッセージアルバムも教区全体で 1 つのものを準備しました (第 3 地区は青年たちが担当)。
- 2024 年度のキリスト教入門講座が５月９日（木）からスタートします。ポスターと申込用紙がロビーにありますのでどうぞご覧ください。申し込みは事務所まで。
- 今年４月より事務所の体制が変わっています。ロビーと事務所外の窓口にスケジュールが掲示されていますのでご確認ください。

きょうかいがっこうだより

カトリック二俣川教会　教会学校
2024 年 5 月

【5 月～6 月の予定】

・5 月 12 日　＜主の昇天＞　侍者会　・初聖体クラス（ゆるしの秘跡）
・5 月 19 日　＜聖霊降臨＞　クラス　・初聖体クラス
・5 月 26 日　＜三位一体＞　初聖体クラス
・6 月 2 日　＜キリストの聖体＞　クラス　・初聖体クラス（子どもミサの中で初聖体）
・6 月 9 日　侍者会　（初聖体クラスの親子は参加しましょう）
・6 月 16 日　クラス（ボリビアのお話）

【お知らせ】4月号より「きょうかいがっこうだより」は保護者会のラインにてお知らせしています。

＊初聖体の準備をしている 8人のお友達のためにお祈りをお願いします。
お祈りしたらお花のシールを貼って、8人がお祈りや、勉強をもっと
がんばれるように応援しましょう。よろしくお願いいたします。

★お花のシールを貼ってね

●2024年度教会学校始業式　4月7日

教会のみなさま、いつもお祈りありがとうございます。今年も光の子として歩みます。

神父様に祝福していただきました

教会のみなさまにごあいさつしました

イースターのプレゼントもいただきました！

●ナン神学生の助祭叙階式　4月21日

いつもナンさんが子ども達に声をかけてくださいます。ありがとうございます。
この日のミサでは、ナンさんも、私たちも心が温かくなりました。
引っ越しで離れてしまったけれど、以前、教会学校で共に過ごしたお友達とも再会できました。

第11回 わかちあいたいかい

「”ともに歩む”教会ってなんだろう？」

～聖霊の交わりの中で～

今年の
「わかちあいたいかい」
5/19
（日）

二俣川教会に集う皆さん、
全員が参加対象です!!

世界代表司教会議（シノドス）のテーマは「ともに歩む教会のため―交わり、参加、そして宣教」。では、“ともに歩む”教会とはなんでしょうか？この機会に一緒に分かち合ってみませんか？

『どのような時にも、“霊”に助けられて祈り、願い求め、すべての聖なる者たちのために、絶えず目を覚まして根気強く祈り続けなさい。』 **エフェソ6章18節**

＊「わかちあい」は5名前後のグループで行います
当日のミサ後、くじを引いてグループ分けをします

＊日本語が得意ではない皆さんもご一緒に
理解し合う心でわかちあいたいと思います。お困りの際はご相談ください。

＊子供たちは別プログラム
中高生、小学生と幼児は別プログラムがございます。
小さなお子さんがいる保護者の方も、是非分かち合いにご参加ください。
また、小学生以下のお子さんは軽食の持参をお願いします。

スケジュール

10:00 ミサ
11:15 説明・グループ分けくじ
11:30 グループで自己紹介
11:40～12:40 わかちあい
12:40 聖堂にて全体会
12:50 前庭にてドリンクサービス
13:20 有志で清掃

ご質問等は青年会へ

マリア会通信　No. 138

主のご復活おめでとうございます！今回はイースターに向けておこなった私たちマリア会の活動をご紹介します。まずはイースターエッグの準備です。600 個の卵を手配し、大鍋でぐらぐらと茹で、ラッピング。神父様に祝別していただいた色とりどりの卵たちは、籠の中で賑やかにお喋りをしているかのようでした。ごミサ後には青年会の協力を得て、皆さんに喜びのひとかけらをお持ち帰りいただきました。

そして久しぶりの開催となったイースターパーティーには、献立を決め・買い出しを済ませ、当日の朝早くから沢山のお料理を用意しました。眩しすぎるほどの日差しの中、強風で紙皿が飛んでしまってアラアラ…と笑い合えることにわけもなく幸せを感じる一日。神様は私たち二俣川教会信徒の笑顔を、ご覧になってくださったでしょうか。

私には小学生になったばかりの娘がいますが、この子がいつも「わたしもやりたい」などと言って、小さいエプロンをつけてお台所をうろちょろしています。お邪魔になって申し訳なく思いつつ、パーティー係の皆さんは、この幼い子を温かく受け入れてくださいます。今回も出来そうな作業を用意し、危なくないよう寄り添い見守りながら「おしごと」をさせてくださいました。娘は、母である私が教会のご奉仕に参加させていただくことが誇らしいようです。私は最近マリア会運営委員の仲間にいれていただいたばかりですが、幼い子持ちで(時には子連れの)この身を喜んで受け入れ、共にご奉仕が出来るよう同じく常に配慮してくださっている委員の皆さんには、日々感謝しかありません。「大きなことを成し遂げるよりも、心を込めて果たすこと」というマザー・テレサの言葉が好きです。新たな季節を迎え、これから共同体の一員としてそのような働きが出来ますよう、神様にお祈りするばかりです。

☆**お知らせ**☆

5 月 31 日(金)久しぶりとなる『マリア会の日』を開催いたします！ミサ後 11 時頃より映画の上映。終了後お食事を用意します。(食事は事前申込み制で、食事代は 500 円です。)
詳細は掲示ポスターをご覧ください。ご参加お待ちしております♪

マリア会　K. R.

＊＊＊

「編集後記」

聖母マリア様の月を迎えました。ご復活節という喜びの中で、更に美しい新緑の季節を迎えられることは大いなるお恵みです。今号は内容充実の 12 ページ立てになりました。『二十六聖人』の編集の中心は広報メンバーですが、その後は周りのサポートをいただきながら印刷へと進み、折りたたみ作業を経て発行となります。これからも広報へのご協力を引き続きよろしくお願いいたします。感謝のうちに。　（N. F. 記）